徒然草

奥山に猫またといふものありて　―品詞分解―

「奥山　に　猫また　と　いふ　もの　あり　て、人
を　格助・対象　食らふ　ハ四・終　なる。」　伝・体　と　格助・引用　人　の　格助・主格　言ひ　ハ四・用　も　係助・同類、猫　の　格助・主格　経上がり　ラ四・用　て　接助・単接、猫また　に　格助・変化　なり　ラ四・用　て　接助・単接、人　取る　ラ四・体　こと　は　係助・提示　あ　ラ変・体（撥音無表記）　なる　伝・体　と　格助・引用　言ふ　ハ四・体　者　あり　ラ変・用
ける　過・体　を　格助・対象、何阿弥陀仏　と　格助・引用　か　係助・疑問　や、連歌　し　サ変・用　ける　過・体　法師　の　格助・同格、行願寺　の　格助・体修　ほとり　に　格助・場所　あり　ラ変・用　ける　過・体　が　格助・主格　聞き　カ四・用　て　接助・単接、ひとり　副　ありか　カ四・未　ん　婉・体　身　は　係助・提示、心す　サ変・終　べき　当・体　こと　に　断・用　こそ　係助・強意（結）　と　格助・引用　思ひ　ハ四・用　ける　過・体　ころ　しも、副助・強意
ある　連　所　にて　格助・場所　夜　更くる　カ下二・体　まで　副助・範囲　連歌　し　サ変・用　て　接助・単接、
ただ　副　ひとり　副　帰り　ラ四・用　ける　過・体　に　格助・時間、小川　の　格助・体修　はた　に　格助・場所　にて、
音　に　格助・状態　聞き　カ四・用　し　過・体　猫また、あやまた　タ四・未　ず　打・用　足もと　へ　格助・方向
ふと　副　寄り来　カ変・用　て　接助・単接、やがて　副　かきつく　カ四・体　まま　に　格助・時間、首
の　格助・体修　ほど　を　格助・対象　食は　ハ四・未　ん　意・終　と　格助・引用　す。　サ変・終　胆心
失せ　サ下二・用　て　接助・単接、防が　ガ四・未　ん　意・終　と　格助・引用　する　サ変・体　に　接助・逆確、力
なく、　形ク・用　足　も　係助・列挙　立た　タ四・未　ず　打・用、小川　へ　格助・方向　転び入り　ラ四・用　も　係助・列挙
「助けよ　カ下二・命　や　間助・呼掛、猫また　よ　間助・呼掛　や　間助・呼掛　て　接助・単接、
叫べ　バ四・已　ば、　接助・順偶　家々　より　格助・起点　松ども　ともし　サ四・用　て　接助・単接　走り寄り　ラ四・用
て　接助・単接　見れ　マ上一・已　ば、　接助・順偶　こ　代　の　格助・連修　わたり　に　格助・場所　見知れ　ラ四・已　る　存・体
僧　なり。　断・終　「こ　代　は　係助・提示　いかに。」　副　とて、　格助・引用　川　の　格助・体修　中

より（格助・起点）
抱き起こし（サ四・用）
たれ（完・已）
ば（接助・順偶）、
連歌
の（格助・体修）
賭け物
取り（ラ四・用）
て（接助・単接）
、
扇、小箱
など（副助・例示）
懐
に（格助・場所）
持ち（タ四・用）
たり（存・用）
ける（過・体）
も（係助・同類）、
水
に（格助・場所）
入り（ラ四・用）
ぬ。（完・終）
希有に（形動ナリ・用）
して（接助・単接）
助かり（ラ四・用）
たる（完・体）
さま
にて（格助・状態）、
はふはふ（副）
家
に（格助・場所）
入り（ラ四・用）
に（完・用）
けり。（過・終）
飼ひ（ハ四・用）
ける（過・体）
犬
の（格助・主格）、
暗けれ（形ク・已）
ど（接助・逆接）
主
を（格助・対象）
知り（ラ四・用）
て（接助・単接）、
飛びつき（カ四・用）
たり（完・用）
ける（過・体）
と（格助・引用）
ぞ（係助・強意（結））。